

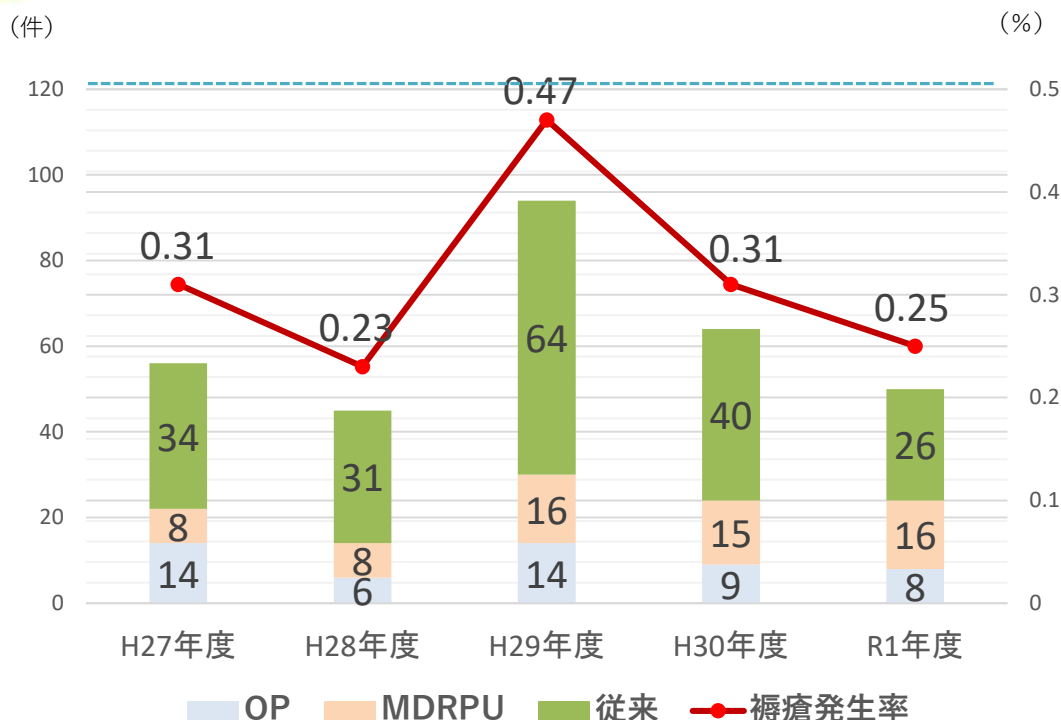
看護部：褥瘡発生件数と発生率

■ 解説：process指標

褥瘡発生件数とは、「術中体位による圧迫創傷」、「医療関連機器圧迫創傷」、「従来からの褥瘡」とし、いずれも「圧迫により発生した総件数」と定義しています。褥瘡発生は、適切な環境調整や予防ケアにより減らすことができます。

褥瘡発生率とは、褥瘡予防の総合力を表現する指標です。専門性のある多職種（医師・看護師・栄養士・薬剤師等）が協働する褥瘡対策チームでは、患者さんのQOLを考慮した質の高い褥瘡予防・治療ケアの提供を目指して活動しています。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

国立大学病院の褥瘡発生率は0.5%以下を目標としており、目標内で推移しております。しかし、平成29年度は、65歳以上の入院患者が増え、治療後の離床や日常生活動作について十分な考慮ができず、褥瘡件数及び褥瘡発生率が増加しました。

今後も高齢者の入院患者が増加することが予測されるため、日常生活動作を考慮したリスク評価、体圧分散寝具の適切な選択や使用設定を行い、チームで予防策を立案し、減少につなげていきます。

■ 定義

【発生件数】「術中体位による圧迫創傷」「医療関連機器圧迫創傷」「従来からの褥瘡」の総件数

【発生率】分子：当該月の新規褥瘡発生数
分母：当該月の実入院患者数（前月末日の在院患者数＋当該月新規入院患者数）

■ 参考文献・学会ガイドライン等

褥瘡対策委員会ガイドライン資料（滋賀医科大学医学部附属病院）